

中期選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号【1】**

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 「京」の総画数として最も適当なもの
のを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。
……………**答の番号【2】**

(ア) 7画 (イ) 8画 (ウ) 9画

(2) 次の(ア)～(ウ)の数を値の小さいものから順に並べかえ、記号で書け。
……………**答の番号【3】**

(ア) 7 (イ) 5 (ウ) 3

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)	【1】				
【3】	【2】	【1】				
(ウ) ↓ (イ) ↓ (ア)	ア ① ウ	水 曜日				
【3】	【2】	【1】				

検査					
1					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

このページに問題は印刷されていません

一 次の文章は、「俊頼髓脳」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い

(1) (5)に答えよ。(12点)

この部分は著作権の関係により掲載していません。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- *貫之：紀貫之。平安前期の歌人。
- *蟻通：大阪府にある蟻通神社。
- *え知らで：気づくことができます。
- *物とがめいみじくせさせ給ふ…とがめることをひどくしなさる。
- *禰宜：神官。 *すべからくは…当然。
- *しかはあれど…そうではあるが。 *さだめて…必ず。
- *御託宣：お告げ。 *とばかりある程に…しばらくの間に。

*和泉の国：現在の大阪府南部。

*明神：神の敬称。

(1) 本文中の **a** にはかに を、すべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。また、次の (ア) (イ) (エ) のうち、波線部 (~~~~) が現代仮名遣いで書いた場合と同じ書き表し方であるものを一つ選べ。

- (ア) ほのかにうち光りて (イ) 晴れならずといふことぞなき
- (ウ) いづれの年よりか (エ) ひとへに風の前の塵に同じ

(2) 本文中の二重傍線部 (====) で示されたものうち、主語が一つだけ他と異なるものがある。その異なるものを、次の (ア) (イ) (エ) から選べ。…答の番号【2】

- (ア) 見れば (イ) 問へば (ウ) いへり (エ) おしつけて

(3) 本文中の **b** 覚めにけりとぞ とは、「覚めたということだ」という意味であるが、「禰宜」はどのような状態から覚めたのか、最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。…答の番号【3】

- (ア) 貫之に神が乗り移っている夢を見ている状態
- (イ) 託宣をする神が禰宜に乗り移っている状態
- (ウ) 馬に乗って神社の前を通った貫之の夢を見ている状態
- (エ) 馬が倒れたことをとがめる神が禰宜に乗り移っている状態

(4) 次の (ア) (イ) (エ) は本文中のできごとについて述べたものである。(ア) (イ) (エ) を時間の経過にそって古いものから順に並べかえ、記号で書け。…答の番号【4】

- (ア) 貫之が和歌を詠んだ。 (イ) 倒れていた馬が生き返った。
- (ウ) 貫之が鳥居を見つけた。 (エ) 蟻通の神が祭られていると貫之が知った。

(5) 次の会話文は、光太さんと奈月さんが本文を学習した後、本文について話し合ったもの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

光太 本文から、神が貫之の無礼な行いを「**A**」と考えたのは、貫之が故意にその行いをしたのではないからだとわかるね。その後、貫之は和歌を詠んだけれど、その和歌はどのような内容だったかな。

奈月 本で調べたけれど、「雲が空を覆っている夜なので、蟻通の神がいるとはうかつにも思わなかった」というような内容だよ。「ありとほし」という語は掛詞の解釈がさまざまにできて、この和歌の「神ありとほし」は、「神蟻通」と「神有り遠し」の掛詞だそうだよ。「遠し」は、神がいると気づかなかった貫之のうかつさを表現しているんだね。なるほど。この和歌は、**B** だよ。貫之には、掛詞という表現技法を用いて巧みに和歌を詠めるほど、和歌の実力があつたんだね。

① 会話文中の **A** に入る最も適当な表現を、本文中から十字で抜き出して書け。…答の番号【5】

② 会話文中の **B** に入る最も適当な表現を、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。…答の番号【6】

- (ア) 貫之が自らの行いに対する罰が何かを尋ねたので、卓越した和歌の力を示すことだと神が告げたところ、貫之が驚きためらいつつ詠んだもの
- (イ) 貫之が和歌の達人として神に認めてもらおうとしたので、試しに和歌を詠むように神が告げたところ、貫之が即座に考えて詠んだもの
- (ウ) 貫之が和歌を得意としていないと思っていた神が、あえて和歌を詠むことを求めたところ、貫之が神の予想に反して上手に詠んだもの
- (エ) 貫之が和歌に熟達していることを知っていた神が、その腕前を見せることを求めたところ、貫之がすぐに行動を起こして詠んだもの

【裏へつづく】

注

*すさび…娯楽。 *キャサリン・ネルソン…アメリカの発達心理学者。
*動顛…「動転」と同じ。

- (1) 本文中の 永遠^a の熟語の構成を説明したものととして最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、永遠^a と同じ構成の熟語を、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。…………… 答の番号【7】

- I 群 (ア) 上の漢字が下の漢字を修飾している。
(イ) 上の漢字と下の漢字の意味が対になっている。
(ウ) 上の漢字と下の漢字が似た意味を持っている。
(エ) 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係になっている。

- II 群 (カ) 雷鳴 (キ) 速報 (ク) 利害 (ケ) 衣服

- (2) 本文中の 念頭に置いて^b の意味として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、本文中の 追随した^h の意味として最も適当なものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。…………… 答の番号【8】

- I 群 (ア) 最初から説明して (イ) 常に意識して
(ウ) 断続的に準備して (エ) 長時間調べて

- II 群 (カ) 後からついて行った (キ) おのずと張り合った
(ク) 大いに感動した (ケ) たちまち夢中になった

- (3) 本文中の 特殊^c の読みを平仮名で書け。…………… 答の番号【9】

- (4) 本文中の 例にとればよくわかります^d を単語に分け、次の〈例〉にならって自立語と付属語に分類して示したものととして最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【10】

- 〈例〉日は昇る …… (答) 自立語＋付属語＋自立語
(ア) 自立語＋自立語＋付属語＋付属語＋自立語＋付属語
(イ) 自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋自立語＋自立語
(ウ) 自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋自立語＋自立語＋付属語
(エ) 自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋付属語＋自立語＋自立語

- (5) 本文からは次の一文が抜けている。この一文は本文中の〈1〉～〈4〉のどこに入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。…………… 答の番号【11】

だからこそ、ものを書いて商売をするといった発想を度外視してまで、彼らは血のにじむ努力をしたのです。

- (6) 本文中の それ^e の指す内容として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【12】

- (ア) 近代は科学の時代で、作家が自分の生の真実を「告白」する道がひらけたことにより、うそっぽい話が流行しなくなったこと。
(イ) 近代は科学の時代で、「私小説」が文学の常道となり、話は面白おかしく奇想天外でないといけないう考え方が広まったこと。
(ウ) 近代は科学の時代で、いかにも面白く奇抜な小説に人々が飽き、作家が自分の生の真実を「告白」することが文学の常道にまでなったこと。
(エ) 近代は科学の時代で、話は「リアル」でないといけないう風潮が高まり、作家が自分の生の真実を「告白」する道がひらけたこと。

- (7) 本文中の だけ^f は助詞であるが、その種類として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、だけ^f と同じ種類の助詞が波線部(~~~~)に用いられているものはどれか、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。…………… 答の番号【13】

- I 群 (ア) 格助詞 (イ) 副助詞 (ウ) 接続助詞 (エ) 終助詞

- II 群 (カ) 目的地に着いたばかりだ。(キ) 会えてうれしいうよ。
(ク) メモをしつつ話を聞く。(ケ) 今日は昨日より寒い。

- (8) 本文中の 性シツ^g の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。…………… 答の番号【14】

- (9) 本文中の A・B に入る表現の組み合わせとして最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【15】

- (ア) A 個人は個人 B 作家が作家
(イ) A 個人は社会 B 個人が個人
(ウ) A 作家は社会 B 社会が作家
(エ) A 社会は個人 B 作家が個人

【裏へつづく】

(10) 本文における段落どうしの関係を説明した文として適当でないものを、次の

(ア) (イ) から一つ選べ。……………答の番号【16】

(ア) 2・3 段落では、1 段落で提示した話題について、具体例を挙げて説明している。

(イ) 4・5 段落では、2・3 段落で述べた内容を別の角度から捉え、主張を提示している。

(ウ) 6 段落では、4・5 段落で示した内容を認めたとうえで、論を発展させている。

(エ) 9 段落では、7・8 段落で述べた内容に言及しつつ、それとは反対の立場で主張をまとめている。

(11) 実沙さんと潤一さんのクラスでは、本文を学習した後、本文に関連するスピーチをすることになった。次の会話文は、実沙さんと潤一さんが話し合ったものの一部である。これを読み、下段の問い①～④に答えよ。

実沙 本文では、日本人が「私小説」という個人史物語を書くようになって

た経緯が述べられていたね。

潤一 そうだね。日本人が、近代という不安定な時代を生きていくうえで

「ある種の勇氣」を得ることができたのは、発達心理学の見解から考
えると、個人史を語ることが、自己をゆるぎないものとし、他者との
関わりのなかで自己の立ち位置を定め、**X** を自覚するきっかけ
になったからだと言えるね。

実沙 なるほど。それに、発達心理学の見解では、自己は、発達に伴いな

がら、**Y** であるということが本文からわかるね。そう考えると、
個人史物語における個人にも同じようなことが言えるんだね。

潤一 そうだね。「私小説」は、**Z** ことによって生み出されたのだと

いう筆者の主張にも納得がいくね。本文をよく理解できたし、スピーチ
について考えようか。

① 会話文中の **X** に入る最も適当な表現を、本文中から十六字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………答の番号【17】

② 会話文中の **Y** に入る最も適当な表現を、本文中から十二字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………答の番号【18】

③ 会話文中の **Z** に入る最も適当な表現を、次の (ア) (イ) (ウ) から一つ選べ。……………答の番号【19】

(ア) 突然の近代化で平静さを欠いた日本人が、自分を自明な存在として捉えるのではなく、物語の展開を介して自分という存在を確かなものにしようとした

(イ) 唐突な近代化に歓喜した日本人が、自分という存在を自明なものとして書くのではなく、物語の内容に応じて自分を確固たるものにしようとした

(ウ) いきよりの近代化に驚き慌てた日本人が、物語の展開を通して自分をくつていくのではなく、自分という明白な存在を物語に書こうとした

(エ) 急速な近代化で落ち着きを失った日本人が、自分の存在を確固たるものとして語るのではなく、物語を書くなかで全く別の自分になれるようにした

④ スピーチをするときの一般的な注意点について説明した次の文章中の **A** (イ) **B** (ウ) **C** に入る最も適当な表現を、**A** は後の I 群 (ア) (イ) から、**B** は II 群 (カ) (キ) から、**C** は III 群 (サ) (シ) からそれぞれ一つずつ選べ。……………答の番号【20】

スピーチは、**A** 内容を決定し、**B** 構成となるようにする。また、スピーチを発表する際は、**C** とよい。

I 群 (ア) 聞き手の関心よりも、具体的な体験や自分の関心を優先して

(イ) 自分だけの関心に頼らず、話の目的や聞き手の関心にも合わせて

II 群 (カ) 話の順序を工夫して、考えの根拠を提示してわかりやすい

(キ) 豊富な話題を取り入れ、専門的な語を多用した複雑な

III 群 (サ) 調子を変えずに、話す速さを一定にする

(シ) 早口で話さずに、間の取り方を工夫する

検査1 国語答案用紙

二														一					問題番号	
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)
㊤	㊥	㊦	㊧											㊨	㊩					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の
I	ア	ア		ア	ア	性	I	ア	1	ア		I	I	ア		(ア	ア		答
ア							アイ					アイ	アイ)				
イ							イウ		2	イ		イウ	イウ			↓	イ	イ		
II	イ			イ	イ		エ					エ	エ			(
カ		ㄱ	ㄱ				II					II	II			↓				
キ	ウ			ウ	ウ		カ	ウ	3	ウ		カ	カ	ウ		(ウ	ウ	ア	
III							キ					キ	キ			↓			イ	
サ	エ			エ	エ		ク	エ	4	エ		ク	ク	エ		(エ	エ	ウ	
シ							ケ					ケ	ケ)			エ	
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採点欄

検 査
1
受 付 番 号
得 点

検査1 国語 正答表

二													一						問題番号		
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)	
④	③	②	①											②	①						
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号	
I	ア	次第に	社会環		①	性質	①				とくしゅ	①	I		許しつかはすべきなり	(ウ)↓(エ)↓(ア)↓(イ)	①		にわか	の	欄
①		く	く				II		③	ウ		II	II	①				ウ	ア		
II		く	う				カ					カ	ケ	①							
カ		もの	もの	①				①													
III																					
シ																					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】		
完全解答							完全解答						完全解答			完全解答					備考欄
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各1)2	2	2	2	2	2	2	2	(各1)2	配点